

今こそ
若い力で
新しい習志野。

Report

関根ひろゆき

No
64

令和七年第二回定例会
市政報告



市立習志野高校の建替えについて

Q: 習志野高校の老朽化に伴う生徒への負担について伺う。

A: 最も古い普通教室棟、特別教室等及び第一体育館が建築後50年、第二体育館が建築後49年経過しており、天井や壁等に剥がれが見られるほか、一部雨漏りが生じる場合がある。

定期的な点検・保守管理を実施しながら、適時必要な個所の修繕を行っている。

現在の市立習志野高校



市立習志野高校の部活動の現状

Q: 習志野高校の部活動の円滑な練習を考慮した際、理想とする敷地面積について伺う。

A: 現在校舎のある敷地が約3万9千㎡、第二グラウンドが約1万8千㎡となっている。このような敷地の中で場所を半分に区切ったり、時間をずらすなど工夫して活動を行っている状況である。また、近隣の施設やグラウンドを借りて実施している。これらの現状を踏まえた施設整備について検討が必要。

市立習志野高校の航空写真

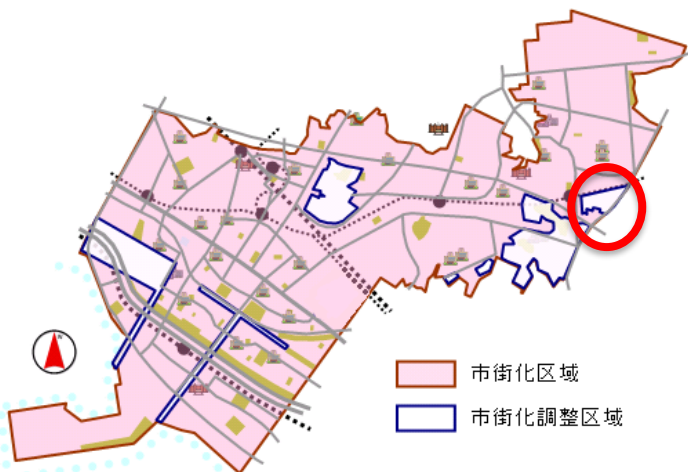




習志野高校移設先の候補地

Q: 現在地に新たに学校を建築する場合は生徒への負担が多大である。新たな移転先は本市が所有する土地財産において検討できるのか伺う。

A: 本市が所有する未利用の土地で現在の敷地面積に相当する広さの土地はない。習志野高校の理想の敷地面積は明確には答えることは難しいが、各部活動の現状等も踏まえつつ、今後の施設整備の在り方とともに検討していく必要があると認識をしている。



実籾三丁目の市街化調整区域への移転が最も負担が少ないと考えます。

※上記地図赤○部分



市立習志野高校建替えへの要望

生徒が利用する実籾駅に隣接する**実籾三丁目**には、**13haの市街化調整区域**があります。生徒通学の負担軽減や、学校教育をはじめとした円滑な部活動を推進するに当たり、十分な土地面積を確保できる可能性は大いにあります。

全国レベルの各部活動の練習が、時間で区切られたり、他の施設を活用したり等の負担が生じてしまっております。建築後50年を経過する施設の老朽化の状態を考えれば、新設の際の**施設の一元化が至上命題**であり、実籾三丁目の市街化調整区域であれば、移設先として望ましいと考えます。

習志野高校については、建築後61年を経過をする令和17年度から建て替えに着手すると位置付けられております。実籾三丁目市街化調整区域の地権者の意向の全ては確認できておりませんが、地権者の意向、地域の意向を確認しながら、将来の習志野高校の移転を検討していただくように要望しました。

活動報告

関根ひろゆき Report



Instagram



ホームページ

PROFILE

関根 洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒園

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

2019年二期目の当選

2023年三期目の当選

発行: 関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

☎ & 📠 : 047-779-4092

討議資料

